

◆担い手育成事業

第14回沖縄県青壮年・女性漁業者交流大会等概要

平成21年1月14日(水)、沖縄県水産会館において約140名の参加者により第14回沖縄県青壮年・女性漁業者交流大会が開催された。

この大会は、本県における漁村青壮年・女性漁業者及び研究グループ等の自主的な活動実績を発表し、相互の知識の交流、活動意欲の向上及び成果の普及を図ることにより、今後の漁村社会の発展に寄与することを目的として毎年開催されている。

今年度の実績発表は伊良部漁協小型船主会の伊地博喜さんと宮古島漁協総務課の濱川武寿さんが「パヤオの日を制定して」と題してパヤオ漁業の振興を核として地域イベントを開催した取り組みと、八重山漁協一本釣り研究会の比嘉幸秀さんが「八重山漁協一本釣り漁業の現状と資源回復計画への取り組み」と題して八重山漁協における資源管理の状況についての発表があった。

また、沖縄水産高等学校から、糸満漁協における職場実習の成果として海洋技術科3年コーストマリンコースの皆さんから「モズク栽培漁業への挑戦」と題して体験発表があった。

審査の結果、八重山漁協の比嘉さんが最優秀賞(県知事賞)に選定された。



県知事賞受賞の比嘉幸秀氏
(右は担当普及員)

水産業改良普及センター 系数 正



伊良部町漁協伊地氏、宮古島漁協濱川氏
(右は担当普及員)



沖縄水産高校の皆さん

平成21年3月5～6日に第14回全国青年・女性漁業者交流大会が東京で開催され、比嘉さんは沖縄県代表として出場し、第1分科会資源管理・資源増殖部門で発表を行い、JF全国女性連・JF全国漁青連会長賞を受賞した。



比嘉氏受賞(全国交流大会)